

株式会社神戸製鋼所

KOBELCO

神戸製鋼所は、鉄鋼、アルミ、素形材、溶接などの素材系事業、産業・建設機械、エンジニアリングなどの機械系事業、電力事業と多様な事業を手掛けており、グループブランドの「KOBELCO」は、建設機械を始めとして国内外で知られている。従業員数は単体で約1万2千人、グループ全体では約4万人を擁する企業グループだ。2050年のカーボンニュートラルへ挑戦し、その中で企業価値の向上を図ることが目指すべき将来像と考えており、グループ独自の技術・製品・サービスにより、CO₂削減に果敢に取り組んでいる。

多様な背景・価値観を持つ人たちが職場で十分に力を発揮できるよう、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)を積極的に推進しており、グループ企業理念では「社員一人ひとりを活かす」「働きやすい職場環境の実現」を掲げる。

D&I推進の一環として、女性の採用・管理職登用を拡大中だ。ここ数年は、女性総合職が増えており、技術職や営業職などで活躍している。語学力を生かして海外に赴任するケースも多いという。女性が働きやすい職場づくりでは、出産などのライフイベントを迎えても仕事を継続できるよう、法定以上の育児休業・休暇制度の充実や、早期復職を支援する制度を設けている。

男性の育児休暇制度など従業員の子育てをサポートする各種制度も整えており、子育てサポート企業の認定「プラチナくるみん」を2019年に取得している。近年、男性育児休業の取得も前年度比2倍ペースで伸びており、育休復職者向け研修では参加者の約半数が男性参加

者となっている。また、男女問わずテレワーク勤務の浸透は、ワークライフバランス向上に貢献しており、育児などの両立社員も「通勤時間に時間を割かなくて良い分仕事に集中できる。」と積極的な活用が進んでいる。

制度面だけでなく、D&Iを推し進める企業風土づくりにも積極的だ。コミュニケーション向上の為に、昨年5月から従業員がキャリアデザインを考える参考にしてもらうことや、リーダーを更に身近に感じられることを目的として、「ランチタイム・セッション」と呼ぶオンラインミーティングを開始した。

社長や副社長といった経営幹部のほか、社外のリーダーらが自身の経験などについて社員からの質問に一つひとつ丁寧に回答する流れで毎回進行している。リーダー達が「入社理由」「楽しかった経験・失敗挫折経験」「プライベートを充実させるための工夫」などについて、包み隠さず本音で話してくれることが好評を得ている。

昨年はラグビーチーム「コベルコ神戸スティーラーズ」の選手が登壇し、新リーグ開幕に向けた意気込みを語り、参加者を盛り上げた。すでに参加者は累計6千人にのぼる。

本社部門の管理職の女性社員は、事業の多様さや技術力の高さといった会社の実力に加え、「人を大事にする会社の風土が働きやすさにつながっている。何しろ誠実で信頼できる社員が多い」と話す。こうした温かい社風は、女性社員がキャリアアップをめざすうえで、強力なサポートとなっている。



高い水準の取組を行っている「子育てサポート企業」の証「プラチナくるみん」に認定



ランチタイムセッションに登壇したコベルコ神戸スティーラーズの選手